

授業科目	社会的養護内容				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21619J		
開講年次	4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として児童福祉施設での指導員の経験を踏まえ、「社会的養護」の授業内容を基盤にして、家庭で暮らすことが困難な子どもへの社会的養護のしくみと内容について学び、模擬的に設定した事例を通して、より具体的な支援の方法や社会的養護の実際の展開について学び理解する。さらに実践現場固有の課題と種別を超えた共通する課題についても理解も深め、また子どもの健やかな成長のために家族や家庭を支援し、養護を必要とする子どもたちに、家庭的環境を整え支援を提供できる基盤について学習する。授業は各々の学生は各課題について事前学習しまとめておく。まとめた内容について予め指定した報告者がプレゼンテーションし、その内容を踏まえ、討議、まとめという形式で展開する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護における子どもの権利擁護について説明できる。 2. 家庭的養護、さまざまな施設での養護、それぞれの機能や役割について理解し特徴を説明できる。 3. 個々の子どもに応じた自立支援計画・養護計画の立案ができる。 4. 支援課題の到達目標を設定し、自立支援、家庭・家族支援へと展開させ自らの意見も述べる ことができる。 5. 日常の支援(生活・自立)はもとより、治療的支援、親子関係調整に関する支援について理解を深める。 6. 学校や地域など様々な機関との調整・協働の方法や技術について理解し意見も述べる ことができる。 7. 援助者としての人間性や専門性の向上に努めることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	50	10	100	
知識・理解 (DP1-1)					10		10	
知識・理解 (DP1-2)					10		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10	10		20	
思考・判断 (DP2-2)				5			5	
関心・意欲 (DP3-1)				5			5	
関心・意欲 (DP3-2)				10	10		20	
態度 (DP4-1)						5	5	
態度 (DP4-2)				10			10	
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)					10		10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
社会的養護を必要とする子どもを受け止めて育むために、養護をめぐる状況や自立支援の視点、問題の分析、さらに今後の課題へと展開していくプロセスを理解し、課題や問題の解決に向けた創造的な支援とは何かを探求しようとする意欲がある。また子どもと家庭を支援する社会的養護の担い手であるという認識を深				社会的養護を必要とする子どもを受け止め育むためにも、養育をめぐる状況や自立支援の視点、問題の分析、さらに今後の課題へと展開していくプロセスは理解している。子どもと家庭を支援する社会的養護の主要な担い手であるという認識を持って実践することができる。				

め、どのような養育や支援が必要なのか想像・創造することができる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション ーシラバスの概要説明・子どもの権利擁護の基本を知り、質の向上を図るために必要なことは何かについて討議する。	オリエンテーション (演習)テキスト課題について討議する。	なし	
2	テーマ:社会的養護における保育士等の倫理および責務 ー専門職としての倫理と責務、また求められる倫理及び責務を基盤にした養育支援と専門性の向上について理解し内容を整理する。	(演習)テキストの事例を検討する。グループで話し合い後発表を行う。	予習:次回の授業のテキスト該当箇所について予習する。	20
3	テーマ:施設養護の特性および実際 1 ー乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設について、それぞれの施設の支援の対象や、特性などを確認する。施設種別の特徴や共通点をワークシートで整理しグループで報告し合い援助の方法など確認する。	同上	同上	20
4	テーマ:施設養護の特性および実際 2 ー児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害児施設それぞれの施設の特性および実際の生活についても説明ができるように調べてみる。演習課題(ロールプレイング)で行い意見交換する。	同上	同上	20
5	テーマ:家庭養護の特性と実際 ー里親制度・ファミリーホーム事業・養子縁組制度等の家庭養護と、一般家庭との違い、保育に求められる役割について事例と課題を通して見えてくる課題について討議する。	同上	同上	20
6	テーマ:社会的養護におけるケアマネジメント ーケアマネジメントの考え方と社会的養護実践における必要性について考察する。まずは事例を挙げケアプランを作成する。また事例をもとにケアマネジメントの実際を学び理解する。。	同上	同上	40
7	テーマ:自立支援計画の作成 自立支援計画は何のためにあるのか、次に自立支援計画の立て方について考え、事例をもとに実際にアセスメントを行い自立支援計画を策定する。	同上	同上	20
8	テーマ:日常生活支援に関する事例分析 ー日常生活のもつ意味、日常生活を支えるとは何か、具体的に何を支えることなのかについて理解する。そのうえで日常生活支援に関する事例を分析していくなかで、日常生活支援に関する視点や特徴についても理解を深め、支援のあり方について考える。。	同上	同上	20
9	テーマ:心理的支援に関する事例分析 社会的養護の心理的支援に関して、①心理的支援の目標と特徴、②心理的支援を考える視点、③心理的支援の実際について事例分析していく中で養育者支援のあり方について理解を深める。。	同上	同上	20

10	<p>テーマ:自立支援に関する事例分析</p> <p>ー自立支援の基本を押さえ、事例分析するなかで自分の意見と人の意見を比較しながら「自分の常識」だけでない視点での自立支援についても考えられるように、またさらにより良い自立支援体制づくりができるような支援の重要性についても理解を深める。</p>	同上	同上	20
11	<p>テーマ:記録および自己評価</p> <p>ー「記録の意義と役割」「記録の種類・方法・内容」「自己評価」について考え、理解を深めるためにそれぞれが社会的養護の現場にはどのような記録があるのか調べてみる。またケースカンファレンスで用いられる記録についても理解を深める。</p>	同上	同上	20
12	<p>テーマ:社会的養護における保育士の専門性</p> <p>ー児童福祉施設における保育士の位置づけを整理し、社会的養護における保育士の専門性について、知識・技術の面から考える。</p>	同上	同上	
13	<p>テーマ:社会的養護における「ソーシャルワーク」の基本的知識について</p> <p>ー「ソーシャルワーク」の意味、具体的に用いる知識や技術、社会的養護における必要性等理解し、応用できるまでになる。</p>	同上	同上	
14	<p>テーマ:施設の小規模化と地域の関わりおよびその課題と展望</p> <p>ー施設「小規模化」に至る経緯と形態について調べる中、小規模化における課題、メリットとデメリットについてグループで話し合い、個人での意見をまとめる。</p>	同上	同上	60
15	<p>テーマ:今後の社会的養護の課題と展望</p> <p>ー厚生労働省の「社会的養護の課題と将来像」の報告書をふまえ、今後の社会的養護に求められる機能・役割に向けた取り組みを知り、社会的養護の課題と未来への展望について検討する。</p>	授業のまとめを行う。	なし	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				

30				
理解に必要な予備知識や技能	社会的養護を必要としている子どもたちのことを知るうえで、参考図書等授業の中で紹介もしますが、図書館等でも探してみてください。			
テキスト	i 伊藤／小池編著「社会的養護内容」 ミネルヴァ書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	全国児童養護協議会 季刊「児童養護」 その他授業の中で紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この授業はグループでの演習授業です。学生相互に色々な考え方があると思いますが、異なる立場の考え方を理解し自分の考えと擦り合わせることで、様々な課題についての具体的な支援は見てくるのだと考えています。また、社会的養護を必要としているの子どもたちが書いた作文集などもたくさんあります。1冊でも2冊でも読んで、子どもたちを理解してほしいと思います。			
達成度評価に関するコメント	提出物の内容に関しては、授業の中で指示します。			